

3年間をふりかえって

-3年学年PTAの皆さまより-

学生気分でPTA活動

竹本 恵理子 さん(3学年PTA)

学年PTAって何をするのかと不安な気持ちでスタートしました。学園祭の準備や当日の出店、焼き肉のタレ作りやバス旅行などに参加し、役員の皆さんと協力しながら活動出来た事が良い思い出です。途中、病気のためPTA活動をやることもありませんでしたが温かく支えていただき、再び復活できたことはとても心強く有り難い経験でした。

友達ができ、学生気分ですPTA活動に参加して、忙しい日常の中で良いリフレッシュになった3年間に感謝しています。特に、桃木先生、執行部の皆さん、ありがとうございました。



素敵な思い出と楽しかった3年間!

安藤 芳美 さん(3学年PTA)

娘の入学式の日、流れから受ける事になったPTAでしたが、やるからには私も娘と一緒に高校3年間を楽しもう!と活動させていただきました。仕事をしている為、参加出来る日に限りでしたが、学園祭でのうどん作りやオータムフェスの合唱など学生時代に戻った気分をたくさん味わえました。PTAの皆さんや先生方と学校生活や進路について情報を交換出来た事もとても有り難かったです。何より娘と学校の話題を共有する事ができたのが本当に良かったです。

娘共々素敵な仲間にも恵まれ充実の3年間を過ごす事ができました。出会えた皆さまに感謝です。ありがとうございました!



この歳で友達ができて嬉しかった!

福島 由紀子 さん(3学年PTA)

3年前、娘が安城学園を希望し入学する事になりました。私も安城学園出身なので、本人が決めて驚きましたがとても嬉しく思っていました。クラス懇談会の時、懐かしさのあまりに担任の先生からの役員の依頼をおもわず引き受けていました。2年目からは執行部に入り、学園祭の計画準備から参加して同じ役員さん達とも仲良くなり、この歳で友達ができたのがとても嬉しいです。ただ、仕事の事情でPTAの研修旅行に一度も参加出来なかったのが、心残りです。娘の卒業と共に私も役員を卒業しますが、卒業生としてまたこの学校に戻ってこれた良かったです。最後に、充実した3年間を過ごせたのは、まわりの皆様の支えがあったからこそだと感謝します。ありがとうございました。



学園祭



一日研修



オータムフェス



「繋がり」



PTA副会長

杉浦 仁司

3年生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

さて、昨今は「AI(人工知能)」という言葉を目にする機会が増えてきました。技術の進化は目覚ましく、私たちの生活や教育環境も大きな転換期を迎えています。しかし、どれほど便利な時代になっても、変わらない大切なものがあると感じています。

それは、部活動などで生徒達の成長を見守る時の「感動」や、学園祭などで保護者同士が顔を合わせて交わす「何気ない会話」、ひたむきに挑戦する生徒達への「全力の応援」。これら、体温の通った繋がりこそが、AIには代替できないPTA活動の本質ではないでしょうか。

最新のツールを賢く取り入れ、効率化を図りながらも、心と心の触れ合いを大切に。そんな「温かいPTA」を皆さまと共に形づくっていただければ幸いです。

最後になりましたが、本年度もPTA活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



PTA役員
座談会

3年間の PTA活動 思い出トーク

お子さんとともに、安城学園高等学校で活動されてきたPTA役員の皆さん。生徒と同じようにPTAも「卒業」を迎えます。この3年間で振り返り、さまざまな思い出や感想を語っていただきました。

3年間のPTA活動を振り返り、楽しかったこと、苦しかったことなど感想をお願いします。

大谷 学園祭や一日研修、部活動応援など、PTA活動すべてが楽しい経験でした。一方で会長になってからは、自分に何ができるのか、PTAの楽しさをどう伝えていくかを考え続けた1年でもありました。

竹内 研修旅行や学園祭、推進大会など、ほとんどの行事に参加してきましたが、楽しいことばかりで、あと1年やりたいと思ったほどです。

森谷 一番印象に残っているのは学園祭です。とても楽しい時間を過ごしました。年2回の一日研修も毎回楽しみで、夫婦で参加できたことも良い思い出です。

三ツ口 子どもはすでに卒業しましたが、「また機会があるならやりたい」と思いました。次の子も安城学園に入学してくれたら、もう一度関わられるかな、と期待してしまうくらい、仲間との時間が心に残っています。

鈴木 学園祭で子どもたちが楽しんでいる姿を見ることができたのが嬉しかったです。PTAで取り組んだお菓子作りでは、スイーツを商品として作り、皆さんに買ってもらえたことが印象に残っています。



参加メンバー

会長	大谷 理早さん	書記	岡田 麻美さん
副会長	三ツ口 順恵さん	会計	下田代 清美さん
副会長	鈴木 知恵子さん	役員	竹内 亮子さん
監査	森谷 友美さん	役員	宮本 綾子さん

宮本 二度目の高校生活のようなものでした。五役の皆さんをサポートする立場に徹し、自分なりの関わり方ができたことが、とても充実していました。



岡田 最初は知り合いもおらず不安でしたが、行事に積極的に参加することで少しずつ仲間が増えていきました。学園祭では、PTAで考えたお菓子の引換券が次々に使われていく様子を見て、大きな達成感を感じました。

下田代 家庭の理解を得ることが簡単ではない時期もありましたが、地域や近所とは関係のない人間関係で、「誰々のお母さん」と結びつかない距離感が気楽でした。年齢や立場を越えて笑い合えた時間は、貴重な経験でした。



お子さんが安城学園高等学校に入学して、どのような感想をお持ちですか？

下田代 小学生の頃、提出物がなかなか出せないことを先生から指摘され、親として悩んだ時期がありました。安城学園に入学してからは、個性を大切にもらえる環境の中で、周囲のフォローや先生方の声かけに支えられ、少しずつできることが増えていきました。

大谷 小学校の頃から集中力の面で心配はありましたが、高校選びでは本人の気持ちを大切にしました。行事や自主活動に積極的に参加し、人との関わりの中で成長していく姿が見られました。一人ひとりの個性やタイミングを見ながら関わってもらえるところが、私学の大きな魅力だと感じています



森谷 祖母の代からご縁があり、今回で4人目が安城学園を卒業しました。生徒と先生の距離が近く、安心して学校生活を送れる環境だと思います。下の子も自然と「入りたい」と思える学校です。

宮本 美術が好きで、その気持ちを大切にしてくれる学校だと思い進学しました。作品制作や発表の機会を多く与えてもらい、「やりたい」と思ったことに挑戦できる環境がある学校だと感じています。

岡田 英語をやりたいという本人の希望で進学しました。部活動や行事を通して人前で話す力が身につく、先生との距離が近いこともあり、のびのびと学校生活を送れていると感じています。



鈴木 控えめな性格でしたが、生徒会や学園祭の実行委員



ど、さまざまな役割を経験させてもらいました。人前で話す自信がついた姿に、成長を感じました。

三ツ口 自分で安城学園を選び、部活動に打ち込む毎日でした。「楽しい」と言って出かけていく姿に、この学校に居場所があるのだと感じました。



竹内 学校のことをあまり話さないタイプでしたが、学園祭で友達と過ごす姿や意外な一面を見ることができました。安城学園で自分なりに学校生活を楽しんでいると感じ、安心できた3年間でした。

最後に、1・2年生の保護者の皆さんに、卒業するPTA役員としてメッセージをお願いします。

竹内 PTAに入るかどうかで、学校生活の楽しさは大きく変わります。迷っているなら、ぜひ一度参加してみてください。



森谷 PTA行事は、参加してみないと良さがわからないと思います。まずは一度、気軽に参加してほしいです。

三ツ口 PTAは、やってみて初めて楽しさがわかります。参加すると自然と友達もできますよ。

鈴木 自分ができる範囲で大丈夫です。特に学園祭などの行事には、ぜひ参加してみてください。

宮本 PTAは「大人の部活」。お互いの良さを認め合いながら、楽しんで参加してもらえたら嬉しいです。

岡田 PTA役員は大変なこともあります。子どもがいるからこそ経験できる大切な時間です。ぜひ楽しんで関わってください。

下田代 親が楽しむ姿を見せることで、子どもとの会話や共感も生まれます。ぜひPTAに参加してみてください。

大谷 PTAの良さは、実際に参加して初めてわかります。大変なこともあります。それ以上に学びや成長があります。親も「経験すること」を大切に、一歩踏み出して参加していただけたらと思います。